



Kumamoto City

News Release

平成28年3月24日

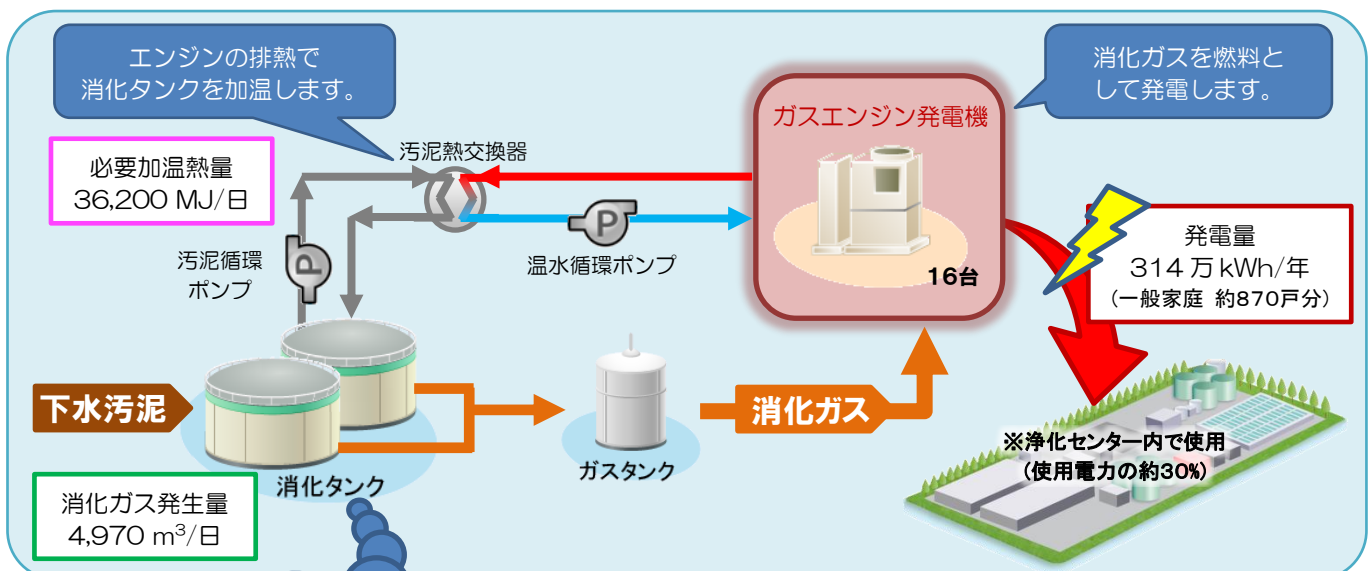
東部浄化センター消化ガス発電設備が平成28年4月1日から本格稼働します

消化ガス（下水汚泥処理で発生するバイオガス）を有効利用した発電設備の導入

上下水道局では、温室効果ガスを削減し地球温暖化防止に貢献するため、汚泥処理過程で発生するバイオマスエネルギーである消化ガスを有効活用する事を目的に、東部浄化センターにおいて消化ガス発電設備を導入しました。本市下水道施設での導入は、中部浄化センターに次いで2例目です。

施設概要

- 1) 発注方法 : 設計・施工一括発注方式（DB<デザインビルド>方式）【本市初】
- 2) 契約方式 : 総合評価方式
- 3) 発電方式 : マイクロガスエンジン 25kW×16台（400kW）
- 4) 発電量 : 約314万kWh/年 ※浄化センター内の使用電力の約30%をまかないます。
【一般家庭 約870戸分】
- 5) 消化ガス発生量 : 4,970m³/日程度（H21～H25 平均値）
- 6) 温室効果ガス削減量 : 約1,922t-CO₂/年
- 7) 総事業費 : 5.94億円
- 8) 工事期間 : 平成26年12月25日～平成28年3月18日



【消化ガスとは】

下水汚泥を加温し、微生物の働きにより発酵・分解させた時に発生するメタンを主成分とする可燃性ガス

【お問い合わせ先】

上下水道局 下水道整備課

電話：096-381-6104

課長：梅田 実（うめだ まこと）

担当：施設班 主査 淵上 弘樹（ふちがみ ひろき）

技術参事 才田 信一（さいた しんいち）